

# 国管理の越水地点強化へ

## 千曲川堤防を補強方針

千曲川の国管理区間のうち、台風19号豪雨災害で川の水が堤防上を越える「越水」が起きた場所について、越水が検討していることが10日、国土交通省北陸地方整備局(新潟市)への取材で分かった。長野市穂保で決壊した堤防の本格復旧と同様に、越水の影響を受けやすい部分をコンクリートなどで補強す



(国交省資料から)

国管理区間で越水をしたのは、長野市穂保の決壊地点を含め13カ所。同市篠ノ井や松代町のほか、中野、須坂、上田、千曲4市と上高井郡小布施町で発生し、各地で浸水被害があつた。こうした越水箇所の復旧で、堤防の住宅地側の肩部やのり面下部にコ

ンクリートブロックを設置し、堤防上から流れ落ちる水の勢いで削られるのを遅らせる方針。堤防上はアスファルトなどで保護し、水の浸透を防ぐ。

長野市穂保の堤防決壊については、国の有識者委員会が、越水により堤防の住宅地側が

削られ、水圧に耐えきれなくなつたと結論付けた。この場所以外でも越水がさらに続いたら、決壊まで至らなかつた。あつたとする専門家の指摘もあり、決壊まで至らなかつた越水地点も強化することにして、越水する可能性がある。

強化方法は「危機管理型ハード対策」と呼ばれる工法で、2015年関東・東北豪雨で鬼怒川(茨城県)が堤防決壊したことを受け導入。堤防の引き上げなどの整備を早期に行うのが難しい場合での越水地點も強化することにし

た。

流域全体の整備は、国と県、水対策とされる。

堤防のかさ上げなど千曲川

千曲川流域の市町村でつくる  
「信濃川水系緊急治水対策会議」で検討している。



## 千曲川霞堤「閉鎖を」

### 遊水機能持たせ 千曲市長見解

千曲市の岡田昭雄市長は10日、市議会一般質問で、台風19号による千曲川の増水で市役所新庁舎一帯が冠水したのが原因とみて、「遊水池機能として一定の面積を確保しつつ(不連続部分)の閉鎖をしたい」との考え方を明らかにした。

岡田市長は、堤防が低くな



つていていた。岡田市長は答を示していた。岡田市長は答弁で、同様の増水がいつ起きるか分からず、早急の対応が必要と指摘した。

市長は取材に「下流域のことを考え、遊水池としての機能を持たせた上で閉鎖できればいい」と説明した。今後、国に直接、要望するとしている。

霞堤は枝状になった堤防で、下流側の堤防は上流に向かうほど本流から離れるよう設置されている。堤防の不連続部から水が逆流して一時的に水をためる遊水池との効果もあるとされる。

国土交通省千曲川河川事務所(長野市)は取材に「霞堤の整備については市と協議しながら検討していきたい」と話した。

同省の杭瀬下水位観測所では10月12日午後9時50分に千曲川の水位が6・4㍍に到達した。

台風19号 2ヵ月

# 復旧続く千曲川流域



## 復旧を巡る2カ月の主な動き

● 10月13日夜 北陸新幹線が東京—長野間で本数を減らして運行再開

## 長野市南部災害ボランティアセンター開設

長野市穂保の千曲川堤防決壊現  
場で仮堤防完成

長野市北部災害ボランティアセンター開設

中央道ハ王子ジャンクションー  
大月インター、チエンジ間の通行  
上り

止め解除

田中間で北陸新幹線とバスを組み合わせた代替輸送開始

上信越道佐久インター—碓氷軽井沢インター間の通行止めが解除され、県内高速道の不通区間

東京近郊の巡回興演が解消され、主にダライアスが舞台を離れた。

北陸新幹線が暫定区間で東京—金沢間の運行再開

国が南箕輪村の国道361号「権兵衛トンネル」入り口付近と東御市道「海野宿橋」を大規

模災害復興法に基づく「非常災害」に指定し、復旧代行の方針を示す

JR飯山線が全区間で運行再開

特急あずさが運行再開

長野市和佐の「日川堤防」は、場で仮堤防を囲う「締切堤防」

長野市が応急仮設住宅の建設開始

中野市が避難所閉鎖

上田電鉄の鉄橋が崩落した上田市の千曲川左岸堤防で緊急復旧工事が完成

工事が完成  
長野市豊野中1、2年生が授業  
再開。台風による土砂災害で休校

再開。台風で休校が生じた県内の26小中学校の休校解消

須坂市が避難所閉鎖

しなの鉄道が全区間で運行再開

長野市か若穂地区の一部に出していた避難指示を解除し、県内の避難指示全て解除

県内被災地で活動してきた陸上自衛隊災害派遣部隊が撤収開始

長野市が避難所をまとめた「統合避難所一」を20日までをめどて

開設。市は避難所を出た後の行  
き先が未定だった世帯も解消さ

れたと発表

長野市穂保、欠損した上田市諷  
訪形の千曲川堤防の本格復旧方  
針を了承

卷之三



10月13日夜	北陸新幹線が東京—長野間で本数を減らして運行再開
16日	長野市南部災害ボランティアセンター開設
17日	長野市北部災害ボランティアセンター開設
18日	長野市穂保の千曲川堤防決壊現場で仮堤防完成
19日	中央道八王子ジャンクション—大月インター—エンジ間の通行止め解除
23日	不通となつたしなの鉄道上田—田中間で北陸新幹線とバスを組み合わせた代替輸送開始
25日	上信越道佐久インター—碓氷軽井沢インター間の通行止めが解除され、県内高速道の不通区間が解消
25日	北陸新幹線が暫定ダイヤで東京—金沢間の運行再開
26日	JR飯山線が全区間で運行再開
28日	特急あずさが運行再開
30日	長野市穂保の千曲川堤防決壊現場で仮堤防を囲う「締切堤防」完成
31日	長野市が応急仮設住宅の建設開始
11月1日	JR小海線が全区間で運行再開
4日	上田電鉄の鉄橋が崩落した上田市の千曲川左岸堤防で緊急復旧工事が完成
6日	長野市豊野中1、2年生が授業再開。台風で休校が生じた県内の26中小学校の休校解消
10日	中野市が避難所閉鎖
11日	須坂市が避難所閉鎖
15日	しなの鉄道が全区間で運行再開
3日	長野市が避難地で活動してきた陸上自衛隊災害派遣部隊が撤収開始
4日	長野市が避難所をまとめた「統合避難所」を20日までをめどに開設。市は避難所を出た後の行き先が未定だった世帯も解消されたと発表
12月1日	国の有識者委員会が、決壊した長野市穂保、欠損した上田市諏訪形の千曲川堤防の本格復旧方針を了承